

2-8 市有施設照明設備LED化

- ・ 市有施設における照明設備のLED化率は12%(2024年10月末現在)
- ・ 2030年度完全LED化に向けて計画的に更新していく。LED化を進めることで、温室効果ガス排出量の削減による脱炭素化を推進する。

<事業概要>

●全体計画(2024年10月時点試算)

総事業費 約100億円

対象施設 全806施設のうち687施設(一般会計所管分)
※LED化完了施設や、統廃合・大規模改修予定施設を除く。

対象照明設備数 約25万灯

年次計画	(施工年度)	(施工施設数)
	2024~2025年度	63施設
	2026年度	127施設
	2027~2030年度	120~130施設/年

削減効果 温室効果ガス排出量 約7,100t-CO₂/年
電気料金 約7億400万円/年

●2025年度

① 市有施設における既存照明設備のLED化 約18億円

対象施設 小学校グラウンド夜間照明、市営住宅、市営駐輪場など63施設

② 市有施設における照明設備基礎調査(その1) 7,200万円

実施内容 2026年度にLED照明設備の更新を行う施設のアスベスト含有量などの調査を実施

対象施設 小中学校、こども園、図書館、消防署など127施設

③ 市有施設における照明設備基礎調査(その2)
(※債務負担行為 7,590万円)

実施内容 2027年度にLED照明設備の更新を行う施設のアスベスト含有量などの調査を実施

対象施設 小中学校、こども園、図書館、消防署など137施設